

平成27年度 学校評価実施報告書

学校名(京都市立待賢幼稚園)

1 平成27年度 重点評価項目

- 確かな学力の育成(他者との協同の中で、主体性を發揮する子どもの育成)
- 豊かな心の育成(豊かな体験活動の実践)
- 健やかな体の育成(基本的生活習慣の確立、進んで体を動かして遊ぼうとする子どもの育成)

2 1回目評価

・重点評価項目について評価・改善していくための個別評価項目の設定 ・各項目にねらいを定めた取組の計画・実施 ・取組結果を検証するためのアンケート項目や各種指標の設定				・アンケート実施結果、その他指標の結果について整理	自己評価	学校関係者評価	
分野	評価項目	自校の取組	アンケート項目・各種指標	アンケート結果・各種指標結果	分析(成果と課題)	自己評価に対する改善策	学校関係者評価による意見
1 確かな学力	主体的に遊び込む子どもの育成	昨年度の国立教育政策研究所や京都市指定の研究をもとに、園内研修で子どもの記録の検討を継続し、一人一人の発達に応じた指導の充実をめざす。	一人一人の発達に応じた経験ができるようになっているか。幼稚園に行くのを楽しんでいないか。毎日あめをもって園園で自分の力を十分に発揮していると思うか。	「発達に応じた指導」は100%、「めあてをもって自分の力を発揮」は91%であると回答	⇒ 主題的に遊び込む子どもやコミュニケーション力の育成については、高い評価を得ている。絵本を読むことについて力を入れてきたが、関心の度合いに格差が生まれている。園では聞く態度、言葉遣いについて指導することも多い。園内研修で、個々の主体性について考える機会をもっている。	年度後半に向けて、さらに子どもたちが主体性を発揮して遊ぶことができるよう、教師の子どもの読み取りや計画性について深めていく。絵本を読む楽しさについて幼稚園で意識して取り組むとともに親子で楽しめる方策を考え実施する。話したくなる聞きくなる信頼関係を更に結び、気持ちの良い聞く態度や言葉遣いについて根気よく伝えていく。	保護者アンケートによると、園の取組が子どもの主体性を育むことに成果を上げていると考えられる。絵本への関心については、子どもの情緒の安定や良好な親子関係をつくることに関係してくるので、今後も引き続き取り組んでほしい。
	コミュニケーション力の育成	挨拶の意識向上 聞きたくなる話したくなる信頼関係の構築	自分の語りを言葉で伝えたいといいが言っていますか。人の話を聞く態度が身についていると思いますか。挨拶や返事がでていると思いますか。	「言葉で伝えたいといいが言葉で伝えたい」という「めあて」は97%、「話を聞く態度」は91%、「挨拶や返事」は77%ではあるご回答			
	ノーテレビ・ノーゲームデー、絵本読もうデーの推進、言語活動(絵本を読む、話し合い)の充実	100冊読書の親子の取組 絵本室の活用、話し合いの機会の確保	ノーテレビ・ノーゲームデー絵本読もうデーの取組は定着しましたか「めざせ100冊親子で読書」の取組は楽しめていますか。	「ノーテレビ・ノーゲームデーの定着」は66%、「100さつ読書の取組」は77%があとあるご回答			
2 豊かな心	豊かな体験活動	園内・外での自然体験 小動物とのふれあい 地域や小中学校等との交流	子どもの姿の変容	「園の環境づくり」については100%ではあるご回答 園外保育11回(宿泊1回)	⇒ 昨年度、国立教育政策研究所の教育課程研究指定や豊かな学びリーディングスクールの指定を受け、細かな子どもの読み取りとそこから指導の在り方を見直す研究を行ってきた。保護者はこれまでの取組・成果から、子どもの内面の育ちに応じた環境づくりが継続されていることを実感している。	子どもの細かな記録から育ちを読み取る研究を引き続き行いながら、地域や他団体との交流も深め、更に豊かな体験ができるようにする。 幼稚園の在籍の子どもだけなく、地域の子どもたち(親子)の豊かな育ちについても考えていってほしい。	園内研修等で積極的に取り組み、子どもの育ちを就学以降も視野に入れて保育を行っていることを評価する。 街中ではあるが、園内に今後も自然を意識して更に取り込み、豊かな感性が育まれるように努める。
	規範意識の育成	遊びや生活の中での具体的な事柄からの指導 全教職員による素地指導	園内研修での細かい子どもの記録の分析・回数 素地指導の回数	園だよりの子どもの姿(毎月) 園内研修前7回(研究保育3回)			
	豊かな感性を育む	園庭の草花などの環境の充実 伝統文化に触れる、観劇体験、正しい言葉使いの徹底	園内研修での細かい子どもの記録の分析	植物や小動物等への関心が高まっている。言葉遣いや聞く態度について適宜指導を行っている。			
3 健やかな体	基本的生活習慣の確立	一人一人に応じた丁寧な指導	「早寝・早起き・朝ごはん」は実行できましたか。基本的な生活習慣がついていると思いますか。	「早寝・早起き・朝ごはん」は83%、「基本的な生活習慣の確立」は94%と回答	⇒ 基本的生活習慣については、早寝・早起き等は、保護者の働き方等にも影響してくる。幼稚園に取り組めることは限られているが、今しかできない子育てが豊かになるよ工夫をする。	早寝早起き等は、保護者の働き方等にも影響してくる。幼稚園に取り組めることは限られているが、今しかできない子育てが豊かになるよ工夫をする。	早寝早起き朝ご飯等の基本的生活習慣を身につけさせることは、家庭教育の大きな役割である。子育て応援をしていく中で、さらに支援をしていきたい。
	進んで体を動かしして遊ぼうとする子どもの育成	広い元待賢小学校校庭の活用・園外保育の充実・環境整備・計画的な保育	体力がついていますと思いますか。友達と元気に遊んでいますか。	「体力」は100%ついていますと回答、「元気に遊んでいる」も100%と回答			
4 独自の取組	地域に開かれた子育て支援推進	毎日の園庭開放・教育相談 未就園児親子の遊びの日の開設 子育て支援センター等との連携	参加者数、参加者感想	未就園児遊びの日の参加者4月~9月のべ463名(去年度602名)	⇒ 保護者の口コミやHP等で未就園児のひよっ子クラブ(月・金)は周知はされているが、昨年度よりひよっ子クラブへの参加者やHPアクセス数は減少傾向にある。今年度から始まった18時までの預かり保育は、夏季休業中も含め保護者への周知が徹底され、利用率が高まっている。保護者や地域の方の預かり保育への援助が定着してきた。	地域の子どもたちが健やかな成長を図るために、地域の民生児童委員会や更生保護女性会との連携を強化し、地域にある子育て支援センターとしての役割を果たしていく意識をさらに全教職員が高めるようする。 今後も個人情報に配慮して、保育の様子をHPで積極的に更新していく。 夏季預かり保育と夏季プールが横み分けされ明確になった。	地域の子育てステーションとして、地域の親子が気軽に来園できる、安心・安全な環境づくりを心がける。 今年度から18時までの預かり保育が実施されていることをさらに周知し、公立幼稚園が利用しやすくなつた利点があることを広めていく必要がある。
	情報発信の充実	HPの積極的な更新 地域への情報紙の発行 保護者への保育の説明	HPアクセス数 地域からの意見 保護者アンケート結果	前期HPアクセス数8,223(昨年度前期9,714) 保護者「園での子どもの様子がわかりやすい」100%回答			
	預かり保育の充実	毎日預かり保育の実施(全園) 保護者・地域の方の人材活用	預かり保育参加者数・アンケート「預かり保育は安心安全な遊びの場や保護者の子育て支援になつていますか」	前期参加延べ人数1,419名(昨年度前期1,213名)「アンケート100%あてはまるとの回答			

平成27年度 学校評価実施報告書

3 2回目評価

<ul style="list-style-type: none"> ・重点評価項目について評価・改善していくための個別評価項目の設定 ・各項目にねらいを定めた取組の計画・実施 ・取組結果を検証するためのアンケート項目や各種指標の設定 					・アンケート実施結果、その他指標の結果について整理	自己評価		学校名()	
分野	評価項目	自校の取組	アンケート項目・各種指標	アンケート結果・各種指標結果	評価日	評価者・組織	評価日	学校関係者評価	
					分析 (成果と課題)	自己評価に対する改善策	評価者(いずれかに○)	学校運営協議会 学校評議員	
1	確かな学力				⇒		⇒		
2	豊かな心								
3	健やかな体				⇒		⇒		
4	独自の取組				⇒		⇒		

2回目は年度末に御提出いただきます。

4 総括・次年度の課題

--

